

「平成15年度岡山市補正予算（第1号）への反対討論

私は日本共産党を代表いたしまして、反対討論を行いたいと思います。

今議会に附議された83件のうち甲第82号議案平成15年度岡山市一般会計補正予算（第1号）について委員長報告に反対して討論をいたします。

項目毎に討論をいたします。

まず、野田屋町一丁目地区市街地再開発事業についてです。市街地開発費、優良建築物等整備事業費174,420（千）円となっております。現在事業中の両備バスが建築している再開発事業に隣接し計画されるマンション建設です。同じく両備バス株式会社を含む3者の地権者とのことですがほとんどが両備バス1社が行うマンション建設と考えられます。「1企業の行うマンション建設になぜ税金を使うのか」という市民の批判は当然です。特定の企業を優遇する再開発事業には賛成できません。

次は、合併・政令市構想事務費についてです。合併・政令市構想事務費、8,000（千）円は事実上の合併・政令市推進のための予算です。アンケート結果では開かれた議論にしてほしいという結論が出ていますが、市民は任意協議会を望んだわけではありません。

市長は「合併特例債による事務費は約550億円となることが見込まれ、岡山市としては、周辺市町でお使いいただく気持ちで協議に臨む」と所信表明され、それに類するあちこちでの発言の影響が出ています。たとえば玉野市議会では「どちらにしても岡山市が中心になるのだからこういうものはみなまわりの人が使えばよい。それくらいの度量がないと合併は難しいよ」という話が出ていた。こういう中で萩原市長がひとつの考えを打ち出したのではないかと山根市長が答弁するに及んでいます。しかし、萩原市長は岡山市民へも市議会へも説明責任を果たしていません。私たちは、協議会でもない場で市長として誤解を招くような発言はやめるべきだと考えます。そして、市民的議論を徹底すること、合併にあたっては住民投票を実施することなどを要望しているところです。今、議会で問題になった所信表明は白紙撤回すべきであります。拙速な任意協議設置を認めることはできません。よってこの予算に反対します。

次に、出石小学校跡地整備事業です。プロジェクト対策事務費、10,700（千）円を計上しています。これは、出石小跡地にプロポーザル方式で、マンション、保育園、高齢者施設等をつくるというものです。プロポーザルの定地借地権は50年となっております。3年ごとに借地料を見直すにしても、通常35年ぐらいで立替なければならないマンション建設で50年はながすぎます。また、そもそもマンション建設がこの土地に必要なかということです。市内中心地に再開発事業を含め、民間マンションがつぎつぎ建設される中であきらかに供給過剰であります。マンション構想そのものの見直しが必要と考え反対します。

つぎは、総務費企画費140,000（千）円のうち、デジタルミュージアム（仮称）

整備推進委託料60,000（千）円について。地域総合整備費を使うために、コンテンツ費も含めてデジタルミュージアム（仮称）整備推進委託料ということで計上されました。今議会の議論の中で、デジタルミュージアムの整備に60億円ちかい予算を使うことになりましたが、実物重視といいながら実物は借りてきて展示するという内容で、その費用の大半は、いわゆる床代と内装代で、約40億円であることが明らかになりました。しかも、これは玄関フロアのNHKより坪単価で、2,000（千）円たかい額です。この内容で本当に将来性があるって他紙に誇るデジタルミュージアムが出来上がる見通しがあるのでしょうか。財政難の岡山市が駅前の再開発ビルの中に高い床を買ってこの時期デジタルミュージアムをつくる必要はなくましてや情報提供と学習のためのバーチャルなら専用で、約6,200平方メートルの床面積は必要ありません。岡山市歴史博物館は原点に立ち返り総合的な博物館計画をまずつくり直すことです。博物館法に基づく実体験のできる博物館をつくるべきと考え現在の計画に反対します。

以上で反対討論をおわります。議員の皆様の賛同をいただきますようよろしくお願いします。